

運用基盤のクラウドサービス mPLAT が Microsoft Azure に対応

株式会社野村総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：此本 臣吾、以下「NRI」）は、情報システムの統合運用機能をクラウドで提供する「mPLAT（エムプラット）^{*1}」に、マイクロソフトのクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure^{*2}（以下「Azure」）」との連携機能を追加しました。

企業でパブリッククラウドを利用することが本格化していますが、課題の一つとして、自社の既存システムとの連携があります。例えば、基幹系システムは既存環境のままとしながら、情報系システムをパブリッククラウドに移管する場合、それぞれのシステムを連携して運用する必要があります。システム部門は、それぞれの環境について、システム監視やジョブスケジュール、運用プロセスなどを統合的に管理することが求められます。

このような課題を解決するために、mPLAT は Azure 上で構築されたシステムと連携できるように運用機能を強化しました。今回、Azure と連携するのは、運用の自動化を実現する mPLAT/SOP(Self Operation Platform)と、運用プロセスを管理する mPLAT/SMP(Service Management Platform)の2つのサービスです。

mPLAT/SOP は、主にシステム監視やジョブスケジュール管理、オペレーションの自動化を行います。Azure の各種サービスとの監視連携および、IT 管理ソリューション Microsoft Operations Management Suite（以下「OMS」）との連携などにより、統合管理を実現します。

mPLAT/SMP は、運用プロセスの管理、およびインシデントや問い合わせの管理を行います。既存環境と Azure 環境において、運用プロセスが異なっても、mPLAT/SMP によって一元的に運用プロセスを管理することができます。また、mPLAT/SMP に蓄積されたインシデント情報などを OMS に連携することにより、運用状況の可視化と継続的改善に向けた分析を可能にします。

*1 mPLAT（エムプラット）：NRI が開発および提供している統合運用管理ツール「Senju Family」をベースに構築した運用基盤を、クラウド型で提供するサービスです。

*2 Microsoft Azure：マイクロソフト社が提供するパブリッククラウドサービスです。

※ Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

【お知らせに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 松本、海藤

TEL : 03-5877-7100 E-mail : kouhou@nri.co.jp

【mPLAT に関するお問い合わせ先】

株式会社野村総合研究所 クラウド運用ソリューション事業部 松本、寺井

TEL : 045-336-6490 E-mail : senjuinfo@nri.co.jp URL : <http://senjufamily.nri.co.jp/>